

# 依知小だより

平成30年度  
2月号  
厚木市立依知小学校  
発行責任者  
荻野 浩文



## ～春に向かって～



2月に入り、暦の上では、3日の節分、4日の立春を迎え、春に向かっていく時期となりました。植物などは、新しい春に備えて様々な準備をしています。校地内の木々も春に向け小さな芽を付け始めてきました。寒くても、生命は次の成長に向けて、見えないところで命の営みを続けています。学校生活では、3学期の学習も中盤を迎えようとしています。今、学習していることは、次の学年での学習の基になります。授業でしっかり話を聴くことや、今やらなければならないことをしっかり行い、これからの成長のために準備していったほしいと願っています。

校長 荻野 浩文



<1/31・給食週間、ありがとうの会>



## ～授業参観・懇談会、お待ちしております～

2月13日(水)に1年生～5年生、2月21日(木)に6年生の今年度最後の授業参観・懇談会が行われます。どの学年もお家の方に1年間の成長した姿を見ていただきたいと、練習したり準備をしたりとはりきっています。お忙しいとは思いますが、ぜひお子様の様子を見に来ていただければと思っています。たくさんのご来校をお待ちしています。

なお、13日(水)は授業参観が始まる前に、13時から地区別会議(登校班編成・地区委員選出)が予定されていますので、出席をお願いいたします。

## あつぎ郷土博物館が開館しました!

1月26日(土)午後、下川入の青年の家跡地に「あつぎ郷土博物館」が完成し、開館記念式典が行われました。延べ床面積1590平方メートル 鉄筋コンクリート2階建ての博物館は、重要文化財などの展示が可能なケースや高透過ガラスを使用した展示ケースが設置されており、最適な環境をつくることのできる展示室となっています。式典では、厚木市長のあいさつや藤塚中学校吹奏楽部の記念演奏があり、本校の下川入の子どもたちが記念植樹に参加しました。開館記念特別展として、「浮世絵の世界」を開催中です。学区ですので、ぜひ親子で見学してみたいはいかがでしょうか。今後、厚木市内の全小学校の子どもたちも、地域学習や昔の暮らしの学習で活用する予定です。



## より良い学校作りに向けて ～学校評価の結果から～

教頭 堀江理佐子

2学期末にはアンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。課題については、改善に向けて今後取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

### 健やかな体に関すること

〈良かったこと〉外で元気に体を動かしている子が多い。

〈課題と思われること〉

- ・自分から進んであいさつをすること。 ・安全に気を付けて登下校すること。
- ・廊下歩行や校舎内での過ごし方などの学校のきまりを守ること。

〈今後の対応策〉

ご家庭の協力を得ながら、学校全体としても多方面から意識付けができるよう取り組んでいきます。

### 確かな学力に関すること

〈良かったこと〉一人一人に配慮して教育活動を進めていた。

〈課題と思われること〉

- ・児童が自分の考えをもち、先生や友達に伝えることに苦手感がある。
- ・子どもたちが宿題や家庭学習に取り組むことや保護者が家で家庭学習を見ることが十分できていない。

〈今後の対応策〉

子どもたちに家庭学習の大切さを伝えるとともに、学校の授業で学力が付くように指導の工夫をします。

### 地域連携に関すること

〈良かったこと〉学習支援ボランティアや外部指導者活用が良くできている。

〈課題と思われること〉

- ・授業参観や学校行事への保護者の参加、学校からのおたより・ホームページへの関心が薄くなっている。
- ・高学年の理科の実験や、タブレットを活用する授業での授業支援者が欲しい。

〈今後の対応策〉

P T A行事への参加を掲示板や声掛けで呼びかけます。読んでいただけるお便りやホームページ作りを心がけます。実験やタブレットの授業では保護者ボランティアやICTサポーターの活用を工夫します。

### 豊かな心に関すること

〈良かったこと〉仲の良い友達がいると答えている子が多い。

〈課題と思われること〉

- ・困ったときに相談しにくいことがある。 ・思いやりの心が育っていない行動が見られる。
- ・学習面で支援の必要な子に対する対応が十分ではない。

〈今後の対応策〉

児童や保護者からの相談に対して温かい対応を心掛けます。時と場所にあった言葉遣いを心掛けることから、心を育てていきます。また、支援に当たる者が役割を分担して対応に当たります。